

平成二十八年四月の作品（四月八日（金））

（於 文京シビックセンター 5階 D会議室）

散る花に空消されたる水たまり
（一江）

蛇笏賞受賞の恩師春日なか
（正佳）

イタリアの旅を想へり紫荊
はなすぼう
（隆治）

海隴おぼろ大島みやけ三宅島うつつすらと
（清助）

甲羅干す亀の親子や春うらら
（貴美）

散る花に両手さしのべ童かな
（太郎）

花種を蒔く指先に日の温み
（前歩）

4月6日 母校入学式

桜咲く古城の門が迎へをり
（奉男）

そこかしこ花花花の桜かな
（正雄）

白椿見えて古刹の厠窓
（平六）

路地裏ほうに苞はうのはじけて紫木蓮しもくれん
（寺西）

故郷の花満開と恩師より
（芙紗）